

埼玉県退職校長会  
大里支部会報

# おとさと

第 43 号

(題字は支部長)

平成29年8月1日

発行者

若林直樹

## あいさつ

### 老け込まない…

支部長 若林 直樹



平成29年度  
総会は、17名  
の新会員を迎  
え、34名の会  
員で、5月13  
日(日)幡羅公民

館にて開催され、蜂須支部長より  
重責を引き継ぐことになりました。  
スタッフも人材に恵まれ、安心し  
て支部長が務められそうです。会  
員の皆様のご協力、ご支援をお願  
いいたします。

土曜日に総会を設定し、新会員  
もより多く参加できたのが良かつ  
たと思います。総会で特に印象に  
残ったのは、高齢者叙勲で、深谷  
の相原重信先生が元氣よく代表者  
あいさつをされていたことで、私  
自身の目標ともなりました。来賓  
祝辞の中で、加松浩北部教育事務  
所長様より、昨年度懲戒免職教員

0人は北部教育事務所のみとの報  
告がありました。大里地区の校長  
さんも全員ががんばって学校経営  
している成果です。素晴らしい新  
会員を迎えたと思っております。

9月7日(木)の役員・理事研修会  
では、本田技研寄居工場の見学を  
予定している旨、鳥塚庶務幹事よ  
り報告されました。老け込まない  
ためにも、積極的に多勢の参加を  
望みたいと思っております。

6月6日(火)、大里支部春季親睦  
ゴルフ大会が上武ゴルフ場で実施  
され「あいさつ」のために、初め  
てゴルフ場を訪問しました。参加  
者の顔触れを見て、80歳を越えて  
いる会員も参加されていて、逆に  
元氣づけられました。まだまだ老  
け込む年ではないと思ひ、題名が  
出てきた次第です。大里地区の会  
員の皆様、お互い「老け込まな  
い」を合言葉に、人生を楽しく元  
氣よく、がんばって行きましよう。  
役員・理事の皆様には、今後2  
年間は、会議が都市部と異なり、  
山並みが見え、近くまで迫っている

カタクリ会館が中心となります。  
熊谷、深谷の会員には、やゝ遠く  
なりますが、眺めと空気のおいし  
さが取得です。  
これから2年間、よろしくお願  
いいたします。

## 大里支部総会概要

5月13日(土)

深谷市幡羅公民館

瑞々しい緑に囲まれた幡羅公民  
館に深谷市長小島進様、深谷市教  
育委員会教育長小柳光春様、北部  
教育事務所長加松浩様、県退職校  
長会副会長磯田亮洋様を来賓にお  
迎えし本年度も退職校長会大里支  
部総会が盛大に開催されました。

開会のことばの後、昨年度ご逝去  
された13名の会員のご冥福を祈り、  
参加者全員で黙祷を捧げました。  
続いて蜂須栄支部長より、全会  
員の協力の下、前年同様に地域の  
諸教育機関や現職校長会との連携  
を密にし、事業推進に努めたい旨  
の方針が示されました。

お忙しい中、ご臨席いただいた  
来賓の皆様から各々ご挨拶をいた  
だきました。全員のお話しを紹介  
すべきであります。今回は小島  
市長様のお話の一部を紹介いた  
します。

深谷市では自転車に乗る時、小  
学生も中学生もヘルメットを被り  
ます。そのヘルメットに描かれて  
いるものは何でしょうか？とうも  
ろこし、地域の特産物だそうです。  
生活している地元を知ってもらえ  
るように配慮しているとのことだ  
す。

次に叙勲者3名(田島初男氏・  
内田眞弘氏・蜂須栄氏)に支部長  
より記念品が贈呈され、代表とし  
て蜂須栄氏がお礼を述べられまし  
た。新会員17名の紹介があり、河  
田重三氏が代表し挨拶されました。  
後半の議事は、熊谷班の馬場攻  
氏が議長となり、平成28年度事業  
及び決算・監査報告の承認がなさ  
れ、伊藤幹事から役員交代が報  
告され、新

旧役員代表  
の挨拶と感  
謝状贈呈が  
されました。  
続いて平成  
29年度事業  
計画案及び  
予算案を審  
議し承認さ  
れ、県総会  
代議員の紹  
介で終了しました。



(文責 富田法昭)



# 随 想



いしずえ  
礎を

熊谷東 大前 勝也

熊谷市は「学力日本一」を目指している。その基盤が、日々の授業であることは言うまでもない。初任者も無論例外ではない。

平成27年度から中学校の初任者研修指導教員として、大いなる可能性を秘めた人材を育てる素晴らしい仕事に携わらせていただいた。

この3年間、毎年3〜4校の5名の初任者とともに、授業と正面から向き合い、改めて授業の難しさ、深さ、不思議さに気付かされている。

私たちが目指す授業は上手い授業ではない。子どもを交差させることのできる授業である。子どもたちに分かった、できた…と実感させることのできる授業である。

その実現のための、自己診断用必須6項目を挙げてみよう。

- ① 子どもの興味・関心、発達・心理を理解し把握する力
- ② 学習内容を的確につかむ力

- ③ 発問、板書を構成する力
- ④ 学習形態、指導方法、教具を活用する力

⑤ ねらいを絞り学習の成果を適切に評価する力

⑥ 自らの授業を謙虚に振り返り分析、研究する姿勢

授業とは子どもと教師とで創るものであり、充実した学びと適時的確な指導・助言とがあつて初めて成立するものである。

一朝一夕に実現できるものではないが、一日一日の弛まぬ努力なしには到達できるものでもない。授業で勝負できる教師、その礎を築くことのできる指導教員でありたい。

## 古街道を歩く (1)

熊谷東 松永 勲

健康寿命は、平均寿命より9歳も低い現状がある。健康で長生きしたいものだ。私が健康維持のために、毎日心がけている「一・十・百・千・万」がある。それは、「一日に一回はご先祖様に手を合

わせる、十回は笑う、百回は深呼吸する、千字は書く、一万歩は歩く」ことである。この目標の達成には、積極的に外出し、仲間との関わりをもつことが必要不可欠である。

先日、「いきがい大学」で学んだ友人と「日光例幣使街道」を歩いた。徳川家康を祀る東照宮の春の大祭に、京都の朝廷から、幣帛を奉納するために派遣された使者のために整備された道が、日光例幣使街道である。倉賀野から楡木までの間に13の宿場が置かれていたという。

倉賀野から歩き始めて8日目、改装なった東照宮に到着、約130kmの踏破を達成した。

街道筋には、今も人々の心に息づく言い伝えや伝説・歴史を語る見処が数多くあり、悠久の世界に浸ることができた。八木節の発祥の地・八木宿、昔の面影を残した佐野市、蔵の街栃木市などの街並、山野草が木漏れ日に照らされた日光杉並木街道、煌びやかな東照宮にも感動した。郷土を愛し、見識をもち人間性豊かな同世代のボランティアの方々にも触れることができた。

仲間との会話の中に笑いあり、自然との中で深呼吸、一日の出来

事を綴り、先祖に報告をする。「古街道を歩くこと」は、心がけの実践に最適な活動であつた。次回、北国街道を歩くことになる。



蔵造りの町

## 新たに一步

熊谷東 大河原 宏

貢献とは、「物事や社会に役立つように力を尽くすこと」とある。64歳になった今、初めて地域に目を向ける機会を得た。地域に一步踏み出してみると、いろいろな出会い・触れ合いがあつたり、時に関係先から連絡がきたり、様々な物事に直面しながら毎日を送っている。今は試行錯誤しながら対応しているが、まだまだ手探りの状況である。しかし、少しだけ見えはじめてきたものがある。それは校長時代に多くの先輩方にご指導いただいた管理職の基本の一つ





冬の穂高

である「地域を自らの足でしっかりと歩き、見えてきたものを自らの目で確かめ、そして地域を知る」という教えである。

この教えは、今の役割、いわゆる責任を果たすための基礎・基本となっている。地域に関わり始めて6ヶ月。お陰で、新たな仲間ができ、小・中学校も身近となるなど、地域コミュニティの一員として多くのことを発見中であるが、貢献することはいつでもできることを実感しながら毎日を通じている。

更に、今の自分を向上させながら貢献していくためには、「心の若さを保つこと」が大切なようである。まだまだ未熟な取組だが、今後も精神的な若さを向上させながら、肉体的な若さも鍛え、先ずは、今できていることに努力を重ね、新たに一步を踏み出していきたいと考えている。

## 一刻も早く

熊谷南 猪野 和幸

「さあ、これでよし」荷物の準備を整え、雪の大内宿に思いを馳せながら床についた。しばらく経つと右の下腹部が重くズキズキ痛むような姿勢になっても一向に痛みがひかない。突然のことで不安が募ってくる。一時、三時、五時：。「ああ、もう我慢できない」家内を起こし、「お腹が痛い。救急車を呼んで：」

五分程で救急車は到着した。「どうしましたか」「昨夜から右の下腹部が急に痛くなって、どうにも我慢できないんです」「ずいぶん頑張りましたね」と救命士さん。気持ちと和やかにしながら必要な処置をしていく。これは、たぶん石ですね。「イシ？」思いもよらぬ言葉だった。「今、痛くありませんか」「脈拍計を見ながら、実に相手の立場に立った対応してくれる。」

運良く搬送先が決まり、七、八分で病院に着いた。かなり長い時間を感じられたが、下腹部のCTを撮り終えた。当直は若い男性のお医者さんだった。「どうぞ一番痛くない格好にしてください」コンピュータの画面を見ながら、「この

ひだのようなものが尿管で、この白い粒が結石です。尿管結石です」確かに結石だ。「痛み止めを処方しておきます。二、三日の間には、体外に出るでしょう」

旅行のキャンセルの電話をしている間にスーッと痛みが消えた。もっと早く手を打ってれば、一晩苦しまずに済んだのに：。

野原熊谷市教育長さんがいつもおっしゃっている「一刻も早くプロの手」を身をもって体験した出来事だった。

## 地域の中で

熊谷北 廣瀬 正美

今年の4月から行政区(町)の区長をしています。

わたしが生まれ育った町ですが、大学入学以来30年も離れていたもので、この年になっても知らないことばかりです。区長をやってくれないかと初めて話がきたときも丁重に断ったのですが、何度も口説かれ、役目の内容もよくわからず引き受けました。

最初の役目は町内の方の葬儀に参列し焼香することでした。次はスバルの社名変更式典に出席することでした。このように、何かに「出席」することが多いのです。

不覚にもある会合に欠席してしまい、先輩方から注意されたこともありました。

その他に、区費を集めたり、回覧物を配ったり、苦情の陳情をしたり、経験のないことばかりで、地域の方々の協力をいただきながら、毎日悪戦苦闘しています。

町内には約一千世帯二千五百人の人たちが生活しています。お恥ずかしい話ですが、区長をやってみて、地域を支える様々な団体がボランティアで活動していることを知りました。民生委員や消防団員を始め25もの団体が活動しているのです。

これまで、保護司で忙しいからと、地域の活動から離れがちだったことを反省しなくては思っています。そのわたしに、どれだけできるか自信はありませんが、次の区長さんに無事引き継げるようになってみようと思っています。

## ゴルフを楽しむ

深谷中 吉岡 克二

退職して5年余り、ゴルフライフを楽しんでいます。

## 【退職者とのゴルフ】

熊退教ゴルフ、壮健ゴルフ、退職校長会ゴルフ等に参加させていた。だいている。先輩方がゴルフを楽しん



でいるのを見るのは大変うれいし。健康でなければできないわけだから、希望であり、目標である。自分も健康でゴルフを楽しみたいと思う。アマチュアゴルファーが書いた『死ぬまでゴルフ』という本がある。著者はスケールの大きいゴルフライフを満喫している。大層な書名だが、死ぬまで健康でいられるというのは理想でもある。あやかりたいものだ。

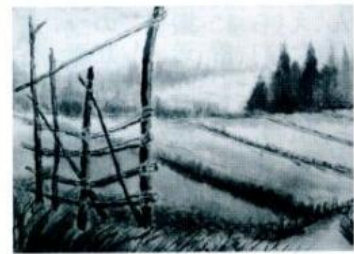
【温泉ゴルフ旅行】

退職した年3泊4日で妻と箱根に行った。昼近くに家を出て3時過ぎに宿に着く。とりあえずビール。そして温泉。翌日は熱海でゴルフ。宿に戻る途中、「箱根に来たんじや関東でも見に行くか」と聞いてみる。「うーん」と生返事。「目的外だな」と宿に帰って、ビールと温泉。翌日は、朝から女子プロトーナメントを見に行く。イ・ボミ選手のスイングはコンパクトで軸がしっかりしている。姿もいい。最終組まで見て宿に帰る。翌日、何処も見学することなく家に帰る。こんなのんびり温泉ゴルフ旅行を年何回か楽しんでいる。

このほかにも友だちとのプライベートゴルフや競技ゴルフなども楽しみにしている。

私にとってゴルフは、向上心を持つためのツールでもある。これから小さな目標を掲げて、ゴルフを楽

しみたいと思う。「じゃあ、練習場に行ってくる」



稲かけと農村

足を知る

深谷北

吉井恵美子

この春、定年後3年勤めた教育研究所を退職し、念願だった京都の花見に出かけた。

桜の開花を見計らって計画したのだが、今年は、何時になく寒い春で、京都の桜は、一輪も咲いていなかった。東京は満開なのに、久々に出るとこんなものかと思ひやりしたが、取りあえず、リニューアルした金閣寺に行った。

混雑は覚悟していたが、入口から長蛇の列である。ほとんど、海外からの旅行者で、スマートフォンやデジタルカメラで記念写真を撮る人々で、見学コースは大混雑である。早々に、金閣寺を後にし、近くの竜安寺へ向かった。

竜安寺は、まだ、団体客が到着

していないのか、そう多くない人たちが、石庭に向かつて瞑想している。私も、満開の桜を想像しながら瞑想した。次に、竜安寺のもう一つの名物「知足の蹲踞」を見学した。「吾唯知足」を图案化した丸い石の蹲踞は、「知足の精神」「禅の精神」「茶道の心」を表したものだ。字配りの妙は、何度見ても感動ものである。

「足を知らざる者は、富むといえどもすなわち貧し。足を知る人は貧しといえどもすなわち富めり」である。不平不満を言わず、日々感謝すること。桜が見られずとも不満を言わず、今を感謝して生きよと論され、旅を終えた。

それもまた楽し

寄居

石川

照雄

退職して3年目を迎えた。退職後の時の流れや生活のリズムに慣れてきたように思える。退職後先ず行ったことと言えば、長い間憧れていたことで、桜の季節に長旅に出かけた。あとは趣味と言えるほどのことではないが、意志が弱く、いい加減にして途絶えていたことに再度挑戦してみた。

それは、古いとしか言いようのないロードタイプの自転車である。

この使い古しの用具は、処分する気になれず、倉庫の奥に寂しうに埃を被っていた。おもむろにそれらを引っ張り出してみた。時間に任せ、汚れや錆、傷等の修理に悪戦苦闘の時を過ごした。何とか記憶に残っているかつての姿に多少は近づいた。

陽気に誘われ、これに跨って出かけた。走り出しは、爽快に疾走することができた。しかし、長い間放置した報いは生易しいものではなかった。ブレーキ、チェーンと次々に課題を投げかけてきた。かなり手強かったが、「それもまた楽し」と、やる気だけは細々と継続している。これを契機に、今までできなかったことへ挑戦したいと考えている。

私は、今の地に居を構えて30年あまりになる。職場との往復ばかりで、ほとんど地域の人たちとの関わりもないまま経た年月を省みて、地域の行事、公開講座、体験講習など興味任せに次々と参加した。そんな折、地域の役員の依頼があり、不安な面もあったが、前向きに考え引き受けた。

いろいろな人々に巡り合うことができた。多才な方、雄弁な方、博識な方、視野の広がりを感じ、「これもまた楽し」である。

# 新入会員の声



ありがとうございます

熊谷南 渡邊 雄市

奉職以来38年、よき師、よき仲間、よき地域、そして、よき子ども達に恵まれ、ゴールすることができました。ともに教え教えられ、泣き笑いの教員生活でした。

残された時間は、無限のエネルギー「ありがとう」の言葉を忘れずに、今あることに感謝し、微力ながらも教育の一端に関わることでできれば幸いです。よろしくお願いいたします。

再び、子どもたちと

熊谷北 成塚 誠司

5月1日、熊谷市より辞令をいただき、妻沼児童館へ週5日勤務しています。午前中は、乳幼児連れの親子が、遊具で楽しく遊んでいます。午後3時過ぎには、小学生44名が児童クラブにきます。宿題を見たり、時には一緒にゲームをしたりして、楽しく過ごしています。再び、子どもたちに関われる嬉しさで、毎日張りのある生活を送っています。

地域の皆様に

熊谷西 宇山 正典

今まで自分の住む地域には、ほとんど貢献できなかった私に対し、定年退職後、多くの方から家庭菜園のやり方をはじめ「釣りに行きましょう」「囲碁を打ちませんか」など声をかけていただいています。地域の皆様から地元の仲間に変わっていくことが嬉しく思えます。また、犬の散歩の距離をさらに延ばし、他の地区の人との交流が、現在楽しみになっています。

感謝の気持ちを

熊谷東 内田 忠行

地域に支えられ、地域とともに歩む中条中学校を最後に教職生活を大過なく過ごせたことに感謝です。今年度入会させていただきました。今は熊谷市教育委員会社会教育課に週4日勤務しております。教員時代にお世話になった多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、日々恩返しができるばと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

恩返しになれば

熊谷南 原口 一明

現在、再任用教諭として熊谷市内4校の小学校に勤務し、初任の学級担任5人とともに、日々教育活動に取り組んでおります。

今までの経験を生かしてと考えていましたが、改めて自分自身の勉強不足を思い知らされ、書物や資料を見返す日々が続いています。初任者のため、そして、今までお世話になった方々への恩返しになればと考えております。

新たな仕事の中で

熊谷西 須藤 一郎

定年退職し、県の人権推進課の仕事をしていただいた。

私が人権教育課に勤務していたころとは違い、人権課題も多様化している。例えば、性的少数者の人権の問題等も出てきている。これらの課題を解決するためにも、研修を通して、多くの人が人権尊重の理念を理解し、意識して行動してもらえような啓発活動を進めていきたいと考えている。

最初の日

熊谷北 青木 隆志

最近、自分の体のことが気になります。とって、生活を変えようとはしていません。どちらかというと、体に悪いことばかりの生活です。この機会に、是非健康的な生活を始めようと考えています。いつでも今日という日は、残りの人生の最初の日です。毎日が最初の日ではなく、健康的な生活を始めて二日目という日を、早く迎えたいです。



雪の奥入瀬





### 今日用と今日行

熊谷西 細野 茂子

初任校での教え子からのメッセー  
ジを手にし、教師冥利につきる退職  
の日を迎えることができました。40  
年という長い間、たくさん先輩方  
のご指導と出会いに心から感謝して  
いる毎日です。

これからは、自然との触れ合いを  
楽しむ毎日の散歩と今日用と今日行  
を大切にし、第二の人生を充実させ  
ていきたいと考えています。

よろしく願っています。

### 再スタートを

熊谷東 福島 智

「60歳までは重々しく、過ぎたら  
若々しく」と適当なことを思ってい  
ました。縁あって、総合教育セン  
ターで、多くの方の悩み相談を受け  
ております。経験則では通用しない  
ことも多々あります。少しでも手助  
ができたらと考えた時、正に今、再  
スタートラインに立ったなと実感し  
ています。育てていただいた皆様の  
ご恩を感じつつ、若々しくがんばっ  
てまいります。

### 授業ができる幸せ

熊谷西 西 博美

現在、英語指導専門員という仕

### 新たな人生

熊谷東 浅見 信行

38年間の教職生活を終え、「出会  
い」「支え」そして、「感謝」しかあり  
ません。4月より、3度目の北部  
教育事務所での勤務となり、非常  
勤職員としてスタートしました。  
若い先生方の忙しい対応を目の前  
に、起案や決裁に懐かしさを感じな  
がら、慣れない仕事に苦戦してお  
ります。退職校長会の諸先輩方に  
は、今後ともご指導よろしくお願  
いいたします。

### 初めて物語り

深谷北 島崎 一雄

退職後1ヶ月の休養。人生初め  
での経験。自分の趣味を深めよう  
と2週間ほどの時間を費した。そ  
の後何をしようかと悩んでいた時、  
優しい先輩からゴルフのお誘いを

受けた。興味津々出かけてみると、  
大先輩の方々が勢揃いしており、  
意気揚々とプレーされていた。そ  
の若々しさに唖然とさせられた。  
今後の生き方の指針を教えていた  
だいた記念すべき日となった。



帝 釈 峽

### 新たな場所で

深谷中 福島 陽一

今春、定年退職し、まさに「人  
生の扉」を実感しております。か  
つて、竹内まりあさんが歌ってい  
たこの曲の意味を、今、ここでひ  
しひしと感じています。  
よく第二の人生と言われますが、  
私自身、新たな場所で精一杯尽く

### 今を如何に生きるか

深谷中 清水 隆

過去と他人は、変えられない。  
しかし、未来と自分を変えられる。  
それを可能にするのは、今だ。  
今を如何に生きるかが鍵。  
退職して新たに意識する。自分  
がよいと思うことをやるのではな  
く、人がいやだと思ふことはやら  
ない。わかっているが、難しい。  
そんな自分に言い聞かせたい。  
「笑顔で、心には誇りを持ち続け  
信頼される人になれ」と。万謝

### ふるさと学ぶ

深谷北 河田 重三

現在、市や学区の歴史・文化・  
人材について、地域の人と交流し  
ながら進める学習は、多くの学校  
で行われています。渋沢栄一翁の  
歩みや志が、ふるさとを学ぶ子供  
たちに寄り添い、未来を拓く力に  
なるよう、お手伝いしたいと考え  
ています。そのためにも、健康に  
留意し、時間を活かし、行ってみ  
る・見てみる・調べてみることを  
大切にしていこうと思ひます。



### 寄居再発見

寄居 大谷 一義

寄居に在住。寄居に在勤経験なし。教職38年間、これまで寝るだけに我が家に帰り、ついに寄居・大里に勤務することはありませんでした。

今、改めて寄居を知る日々を過ごしております。寄居町の山あり川ありの豊かな自然・動植物、日本100名城の鉢形城址など。毎日、一万歩のウォーキングは、町内の小・中学校が通過ポイントです。

### 私だけの時間

寄居 新井 研吾

今までも、決してできないことではありませんでした。が、今、好きな時に、好きな本を読み、好きな音楽を聞いて、時々街道ウォークを楽しめることに感謝しております。

現在、日光街道を完歩し、甲州街道を歩いています。あと、わずかでゴールの下諏訪宿。次は中山道、それとも東海道でしょうか。



### 地区だより

#### 歴史の町散歩

寄居 養田 秀二

寄居駅北の鐘撞堂山ハイキングコースには、古墳時代後半から古代にかけての渡来系文化の史跡を多く見ることが出来る。

中腹にあった馬騎之内廃寺は、飛鳥様式の瓦が出土した七世紀後半創建の関東最古級の初期寺院である。古墳に代わる氏寺として建立した在地勢力として、麓の末野窯跡群の経営や荒川水運に深く関わったと見られる男衾郡ら、先大領壬生吉志氏が先ず挙げられる。人の開拓の跡

数百の登窯で三百年以上、ここで焼かれた須恵器や瓦は、埼玉古墳群や武蔵国分寺にも運ばれている。一方、現田良田湖周辺の山間にみしめは古代の官牧が置かれ、軍馬の放牧地であった。この管理に当たっていたのが、古代に荒川左岸が属していた榛沢郡の檜前舎人直であり、

末野の一角には県内最古の製鉄炉跡である箱石遺跡も存在し、これもまた有力な創建氏族の可能性を持つ郡領家の在地勢力であった。

壬生吉志も檜前舎人も畿内ゆかりの渡来系氏族であり、庶民が堅穴住居で暮らすこの時代、最先端の仏教文化や技術が、寄居町荒川の岸辺に花開いていたのである。

そんな悠久の歴史に思いを馳



#### 水墨画解説

本43号を飾る5枚の水墨画は、元副支部長・塚越嘉明先生の力作である。体育指導で知られた先生は、退職後はクラシック音楽の鑑賞さらに水墨画……。文武両道の

大活躍をされている。

先生の水墨画は、日本の原風景ともいえる農村の光景を精緻な筆遣いで見事に表現している。

秋の絵画同好会作品展で先生の新しい絵と会ってみたくないのである。先生に深く感謝申し上げます。

### 第11回

#### 親睦ゴルフ大会 成績

6月6日(火)21名の参加者を得て、春季親睦ゴルフ大会を上武ゴルフ場で開催しました。梅雨入り前の不安定な天候で開催も心配されましたが、弱風で、降らず照らすの最高の天候に恵まれ、無事にラウンドすることができました。今回は80歳を越える3人の先生方にも参加していただき、大変盛り上がりのある大会でした。

スタート前には、若林直樹新支部長にも会場まで駆けつけていただき、励ましのことをばいただきました。お陰様で士気を高めて楽しい一日を過ごすことができ、感謝申し上げます。

以下、入賞者を記載し、報告いたします。

- 優勝 (支部長杯) 千葉 直之
- 準優勝 黒須 聖治
- 三位 植竹 豊
- ベストスコア82 黒須 聖治 (敬称略)

なお、11月に秋季大会の開催を予定していますので、多くの先生方の参加をお待ちいたします。

# 文芸

## 短歌

### ブルーサーマル

熊谷北 荻野 俊行

ウインチに 引かれて離陸  
する機体を  
見上げる利根の 滑空場にて

旋回を 繰り返しては 六月の  
風をとらえて 雲のまた上

音もなく 麓の上を 通り過ぐ  
着陸態勢 JA2017

### 土の人

深谷中 真下 義明

「土の人」心にかけて花の道  
手がけてすでに十年を越す

会うことの日頃少なき地域人  
共に汗して花を植え継ぐ

植え継ぎしやぶかんでぞうに彼岸花  
列なす花に心のおどる

## 花

寄居 木島 千恵

清楚なる薄紫の桐の花  
咲きてあたりき一角占めて

散歩路の木下闇なる道の辺に  
卯の花咲けり川風に揺れ

定かには見えねど鯉の泳ぎをり  
睡蓮の花を水面にゆらし

## 詩

### 山岳登山回想

熊谷東 野口 静男

北アルプス白馬三山、槍ヶ岳、  
穂高連峰、黒部五郎岳、三俣蓮

華ヶ岳、間の岳、農鳥岳、常念、  
燕、乗鞍、御嶽、燧ヶ岳、至仏、  
安達太良、月山、湯殿山、木曾駒  
ヶ岳、法剣、北岳、千丈ヶ岳：

山小舎、午前四時出発、御来光  
雲海、感動と畏敬、岩盤の○印×  
印、雪渓、流れる霧、這い松の雷  
鳥、お花畑の群生、岩陰のリンド  
ウ、スパッツ、登山靴、アイゼン  
あくまでも高い蒼天と日輪：

すべて名詞で体言止め  
述部の動詞や用言が欲しい  
願うらくは、現在進行形で

## 故郷

熊谷南 早津 孝

思い出は はるかかあなたに

君と歩いた あの道

妙高の白い山なみが

ぼくの脳裏を かけめぐる

懐しい あの日々は

雲のように 流れて：

きつと また いつの日か

あの赤い屋根の小学校をめざし  
君と一緒に 歩きたい

矢代川の雪どけ水の音を  
聞きながら

## 漢詩

### 熊谷桜堤

熊谷西 新井 俊一

桜花爛漫飾長堤

煙景恍然黃鳥啼

昔日三成攻以水

今時醉翁伴良妻

桜花爛漫 長堤を飾る

煙景恍然 黃鳥啼く

昔日三成 攻むるに水を以てす

今時 醉翁 良妻を伴う

※石田三成の忍城水攻め

## 編集後記

「おゝさと」第四十三号をお届け  
します。会員各位のご協力のお陰  
で、編集作業も順調に進みました。  
特に、原稿執筆依頼をご快諾、遅  
滞なく玉稿をお寄せいただけたこ  
とが大きな助けとなりました。心  
より感謝申し上げます。

本年度は組織改編の年。広報部  
員も新しく入れ替わりまだまだ不  
慣れですが、広報部長のリードの  
下、より良い会報をお届けしたい  
という一心で取り組んでおります。  
会員の皆様のご指導、ご叱正をよ  
ろしくお願い致します。



平成29年度  
広報部員

郎守 司昇 武治 誠久 康一  
喜一 眞 文宏 和行 俊  
本 井 藤中 橋木 瀬場 村井  
塚 新 加田 根 荒 強 馬 松 新

埼玉県退職校長会大里支部会報

(第四十三号)

発行 平成二十九年八月一日

発行者 支部長 若林 直樹

印刷所 光陽社印刷所

熊谷市本町一丁目一〇

(〇四八)五二一〇七五七